

# 国立障害者リハビリテーションセンター

オープンハウス会場では、必要な方に、展示内容を説明した DAISY<sup>※</sup>版電子ファイル入りの CD-R を配布いたします。また、ルビ付き簡易版の当日配布資料、筆談器も用意しています。

DAISY 版電子ファイルの事前入手をご希望の方、その他の情報保障が必要な方は、オープンハウス事務局までご連絡下さい。



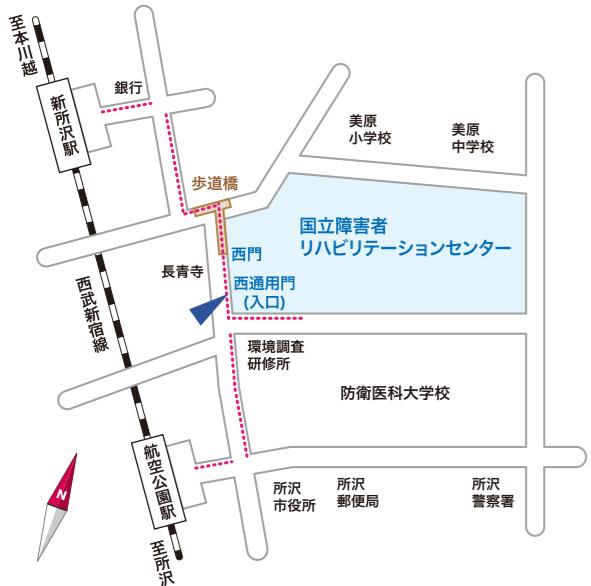
◆ DAISY  
視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のための、カセットに代わるデジタル録音図書



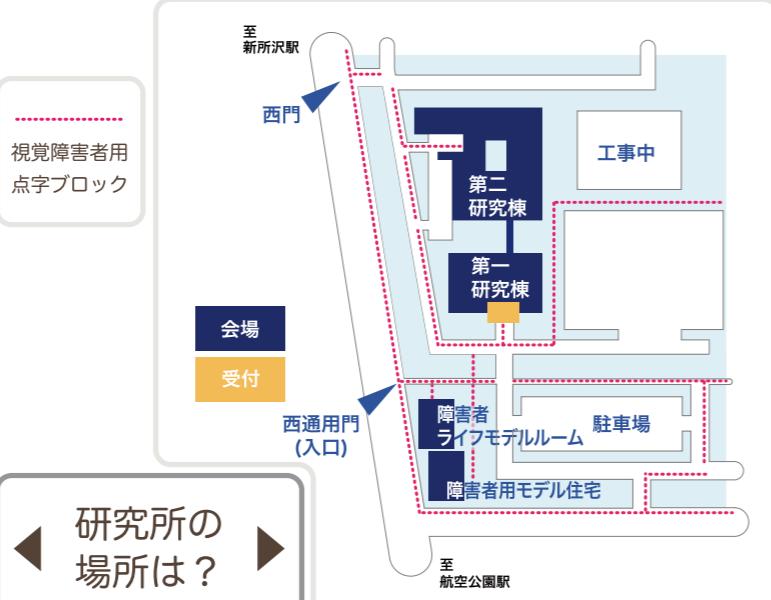
研究所

- 運動機能系障害研究部
- 脳機能系障害研究部
- 感覚機能系障害研究部
- 障害工学研究部
- 福祉機器開発部
- 義肢装具技術研究部
- 障害福祉研究部

我々の研究所は医学、工学、社会科学、心理学と広範囲の分野から、障害のある方の医療・福祉の向上をめざしています。これを目的として当研究所の研究成果、開発した支援技術、福祉機器を多くの皆さんに知りたい為のオープンハウスを開催いたします。  
当日は開発した機器の見学や体験をすることができ、また、研究担当者との自由な意見交換などが行えます。  
ぜひこの機会に、障害のある方の自立支援や社会参加を可能とするための最先端の研究に接してみて下さい。



◀ 研究所の場所は？ ▶



駐車場が限られている為、車での来場はご遠慮下さい

国立障害者リハビリテーションセンター研究所  
オープンハウス事務局  
〒359-8555 埼玉県所沢市並木 4-1  
TEL : 04-2995-3100 (内線2550)  
FAX : 04-2995-3667  
<http://www.rehab.go.jp/ri/indexj.html>



## 「やりたい」を「やれる！」に ～社会参加を応援する技術の紹介～



### 研究所一般公開 オープンハウス2015



◀ 最新情報は？ ▶

今年の  
展示内容は？



ゴルボール用  
プロテクター



国リハコレクション

◀ 地図  
連絡先は？ ▶

2015年10月10日 土  
9:00～16:00  
(並木祭<sup>※</sup>と同時開催)

※国リハ  
文化祭

# モデルルーム / モデルハウス

## コミュニケーションを支える技術

- 盲ろう者支援のための触指文字用ロボットの開発
- 透明文字盤コミュニケーションにおける介護者支援
- ロボットによるコミュニケーション能力の獲得支援



## 社会参加を支える技術

- 国リハコレクション（ファッショショニストと展示）の紹介
- 高次脳機能障害者のためのスマホ用アプリと移動支援に関する研究
- 予定と日付が分かる電子カレンダー
- 大切な情報を知らせてくれる生活支援ロボット
- 統合失調症患者のための服薬カレンダー



## 新技術に向けた研究

- 障害者支援機器・評価機器のためのセンサの研究開発
- 福祉機器の客観的評価の人型ダミーロボット
- 住環境整備のための評価フレーム
- ニーズ＆アイデア フォーラムの紹介  
(医療・福祉系、デザイン系、工学系の学生混成チームによる自立支援へのアイデア)

## 感覚機能についての研究

- 吃音の評価と治療への取り組み
- 難聴の病態解明と新しい原理の人工内耳の開発
- 網膜の変性と再生に関する研究

## 脳機能についての研究

- 視線と視点の訓練ゲーム
- 発達障害研究室の基礎研究の紹介
- 高次脳機能障害研究室の紹介
- ブレイン-マシン・インターフェイス実用化研究
- 高次脳機能の客観的評価手法およびニューロフィードバック手法の開発

第一研究棟

## 運動、移動を支える技術

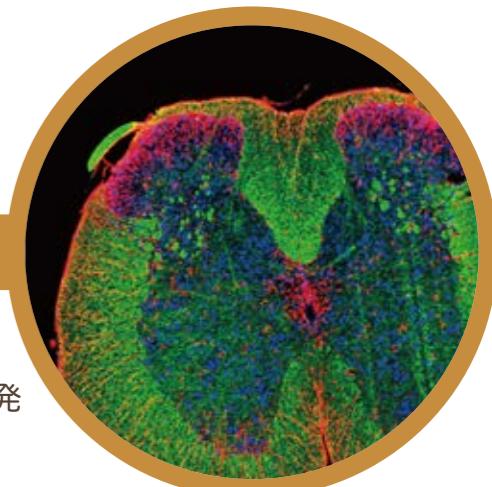
- はじめての義手・義足（パンフレット）
- 下肢切断者と義足に関するデータベース構築と解析
- 先天性上肢欠損児用デバイスの紹介
- 色距離画像センサを用いた義足荷重訓練
- 義肢の展示と模擬筋電義手の体験
- プラレールを利用した筋電義手操作訓練の紹介
- ゴールボール用プロテクター・アイシェード
- 仮想現実感技術による感覚運動機能の訓練支援
- 視覚障害者ガイドヘルプ用センター



## 今年の展示一覧 (予定)

## 運動機能についての研究

- ヒトの姿勢と歩行のしくみを解明する
- 新しいコンセプトに基づくリハビリシステムの開発
- 損傷脊髄の機能回復をめざした基礎研究



## 車いす、補装具に関する研究

- 車いすライログ
- 補装具の試験評価
- 車いす強度の臨床評価
- 車いす搭載型うつ熱予防システム
- 二次障害としての褥瘡<sup>★</sup>を予防する・シーティングクリニックでの継続支援  
(★じょくそう：床ずれ)

第二研究棟